

資料 2】

沖縄県の平和関連の取組

2024年（R6）12月



沖縄県平和・地域外交推進課

写真提供：OCVB

1 沖縄県の紹介

東アジアの中心にある沖縄



- 日本の南西部に位置する。東西 1000キロ、南北 400キロの海域に多数の島々
- 那覇を中心に 3,000km の範囲内は、東京をはじめ、ソウル、北京、上海、香港、台北、マニラなど、アジアの主要都市が存在

【沖縄県の概況】

- 県土面積約 2,282km²
- 人口約 147万人
- 県内GDP 4兆 3,739億円（名目）（2021年度）

1 沖縄県の紹介

琉球王国「万国津梁」

- 歴史的にもこうした地理的特性を生かして、各国と交流し、独特の文化を構築し繁栄
⇒大交易時代、万国津梁



世界遺産「琉球王国のグスク及び関連遺産群」



出典：歴代宝案の栞

1 沖縄県の紹介

日本への編入、第二次世界大戦（沖縄戦）、 米国統治時代、日本復帰

1800年代後半

琉球王国は日本に編入され、沖縄県として歩む

1900年 ハワイへの移住、

以降多くの県民が北米・南米、南西諸島などへ移民

1939年 第二次世界大戦の勃発

1945年 沖縄戦

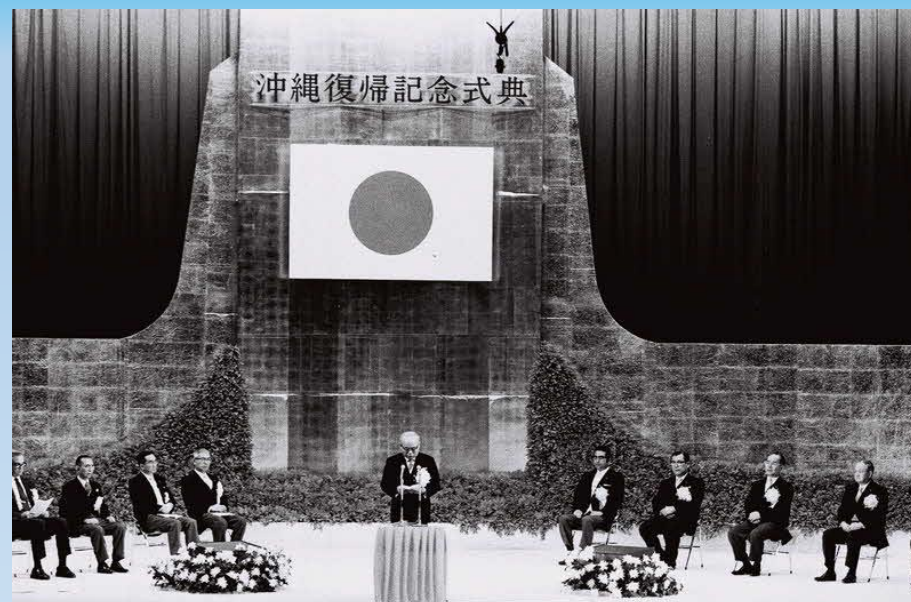


沖縄県公文書館所蔵

1 沖縄県の紹介

1972年（S47年）日本復帰

沖縄県民は、先の沖縄戦における凄惨な体験を通し、命の大切さと平和の尊さを肌身で感じながら、世界の恒久平和の実現を求め続けている。



沖縄県公文書館所蔵

平和を希求する「沖縄のこころ」

「沖縄のこころ」とは、人間の尊厳を何よりも重くみて、戦争につながる一切の行為を否定し、平和を求め、人間性の発露である文化をこよなく愛する心である。

2 平和を希求する「沖縄のこころ」

恒久平和を求める取組



平和の礎 (1995年 (H7) 設置)

国籍や、軍人・民間人の区別なく、沖縄戦で亡くなられた全ての人々の氏名を刻む記念碑

2 平和を希求する「沖縄のこころ」

恒久平和を求める取組



沖縄県平和祈念資料館 (2000年 (H12) 新築)

平和の創造と人類の恒久平和に寄与する拠点

2 平和を希求する「沖縄のころ」

全戦没者追悼式典・平和宣言

慰霊の日

沖縄県では、戦争による惨禍が再び起こることのないよう、人類普遍の願いである恒久の平和を希求するとともに戦没者の霊を慰めるため、日本軍の組織的戦闘が終了した6月23日を慰霊の日と定めている。



全戦没者追悼式典会場の様子

全戦没者追悼式典・平和宣言

平和宣言

戦争体験者が戦争の不条理と残酷さを、後世に語り継いできてくれた実相と教訓を胸に刻み、あらゆる戦争を憎み、二度と沖縄を戦場にしてはならないとの決意と平和を希求する思いを国内外に発信。



平和宣言を読み上げる知事

2 平和を希求する「沖縄のこころ」



沖縄平和賞

2001年 (H13) 創設



第 1 回受賞者 「中村哲を支援するペシャワール会」



2024年 第 12回沖縄平和賞授賞式の模様

2 平和を希求する「沖縄のこころ」

平和への思い (ウムイ) 事業

2019年 (R1) 創設

沖縄と同様に、悲惨な戦争体験などを有し、体験の継承と平和構築に取り組むアジア諸国の学生が共に学びつつ相互理解を深め、平和について考える機会を提供する。

参加国・地域（沖縄、広島、長崎、カンボジア、韓国、台湾、ベトナム）



学生の報告会の様子

2 平和を希求する「沖縄のこころ」

第32軍司令部壕保存・公開に向けた取り組み①

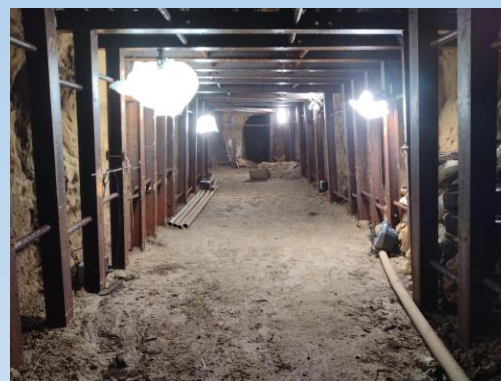


第32軍司令部壕（首里）と首里城周辺の航空写真

2 平和を希求する「沖縄のこころ」

第32軍司令部壕保存・公開に向けた取り組み②

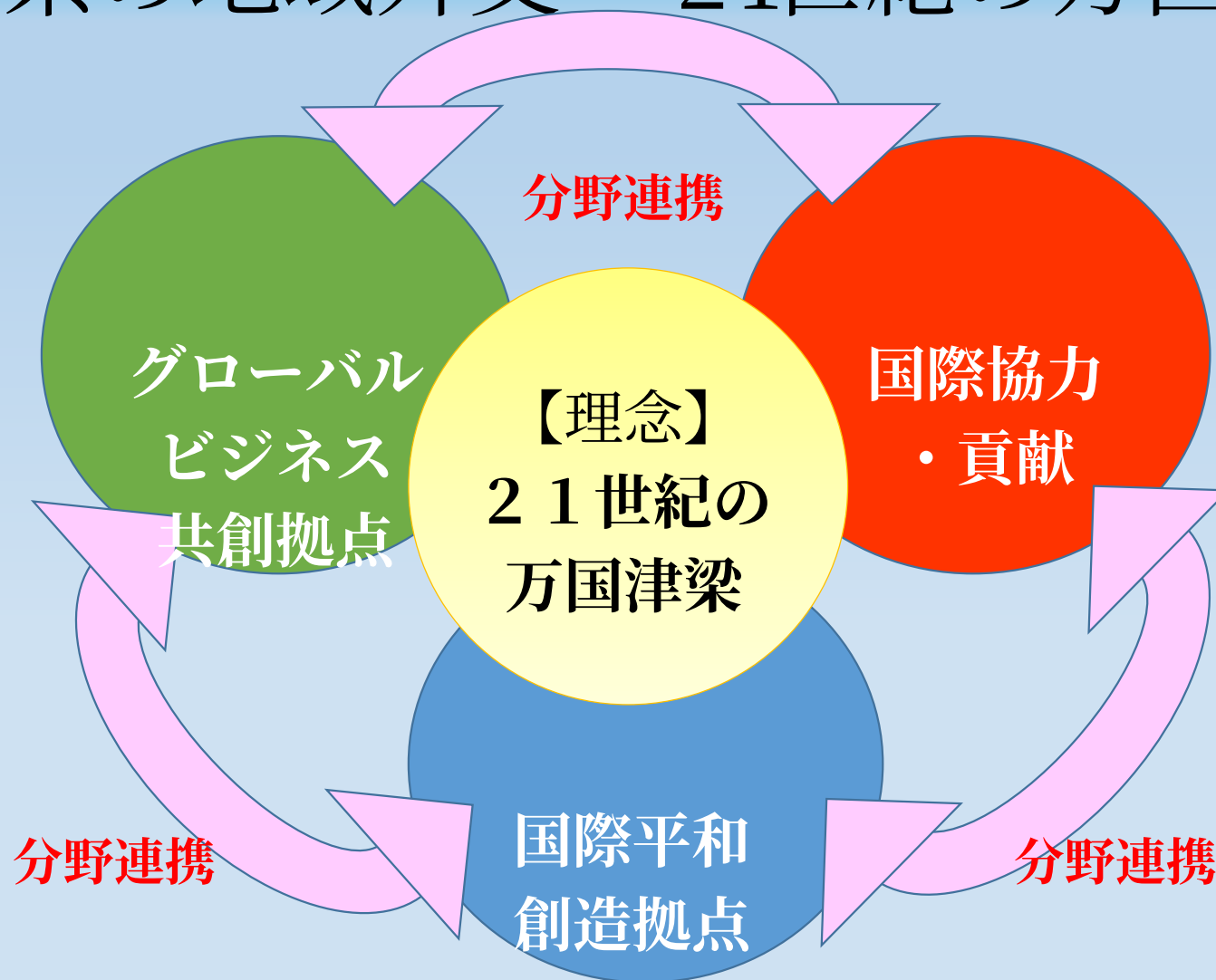
那覇市首里の第32軍司令部壕は、沖縄戦における戦闘を指揮し、住民の犠牲を拡大させた南部撤退の決定がなされた重要な場所であることから、戦争の残酷さと平和の大切さを学ぶ平和教育の場として貴重な戦跡として、保存・公開に向けて取り組んでいる。



壕内の様子

3 沖縄県独自の地域外交

沖縄県の地域外交「21世紀の万国津梁」



3 沖縄県独自の地域外交

沖縄県の地域外交「21世紀の万国津梁」



沖縄県とカンボジアとの平和に関する連携

3 沖縄県独自の地域外交

グローバル平和都市連帯の取組

- グローバル平和都市連帯は、世界平和の島の濟州がモデルとしていたヨーロッパの平和都市と連帯・協力して構成した都市間ネットワーク。
- 2021年、濟州特別自治道（韓国）、オスナブリュック市（ドイツ）、ベルダン市（フランス）で合意。
- 沖縄県は 2023年 6 月に加入。
- 会員都市の拡大を目指している。

※写真は、2024年5月に濟州で開催された第19回濟州フォーラムでのグローバル平和都市連帯セッションの様様。



3 沖縄県独自の地域外交

第19回済州フォーラムで行われた グローバル平和都市連帯セッション

●セッション名：

グローバル平和都市連帯ー都市間ネットワークを基盤とした地域外交

●実施日時：2024年5月31日（金）10:20-11:50

●場 所：済州国際コンベンションセンター（韓国）

●登壇者：

済州特別自治道副知事（主催者挨拶）

ノーベル平和賞受賞者サミット会長（基調講演）

沖縄県知事公室長（パネリスト）

ベルダン世界平和人権センター長（パネリスト）

済州特別自治道国際関係大使（パネリスト）

オスナブリュック市代理（パネリスト）

ノーベル平和賞受賞者サミット理事（パネリスト）

韓国コンプライアンスアカデミー（モデレーター）

済州フォーラム：

朝鮮半島と東アジア地域の平和と共同繁栄模索のための多国間協力の議論の場として2001年発足。

済州特別自治道、韓国外交部等の行財政支援による公共フォーラム。

毎回、大統領または国務総理が出席する政策論壇交流の場としての役割を果たす。